



整形外科医療録⑫

子どもの背中の変形



子どもさんでも背中の変形を生じることがあります。赤ちゃんの頃は、入浴のときなどに見ることができます。生まれつきの背中の変形には、肩の付け根の肩甲骨が背中の中骨に繋がっていることによる肩の高さが異なる変形（スプレングル変形）や背中の中骨の一部欠けて生じるものがありますが、これらは極めてまれで、専門的な治療が必要になります。

最も多くみられるのは、成長期に、女の子に多く発生する変形で、後ろから見ると背中の中骨がS字状に

なり、特発性側弯症といわれています。服を着たまま後ろから見るだけでは、変形があってもよくわかりません。背中を前に曲げていくと、背中の中骨のねじれから肩甲骨や肋骨の高さが異なってきます。健診でもこの方法で見つけます。原因は残念ながら不明です。

背中を伸ばす体操や片側に重い物を持たないようにして進行を防ぎます。治療は、変形を矯正する装具を使用したり、変形が進行し呼吸に影響が出たりすると、金具を用いて変形を矯正します。

けんこうQ&A 腎臓内科⑫

災害時の腎臓病対策は？

～いざというときに備える～



日本は地震や台風などの自然災害が多い国です。腎臓病の患者さん、特に透析治療を受けている方にとって、災害時の備えは命を守るために非常に重要です。停電や断水、交通遮断により、透析が予定通り受けられなくなる可能性があるからです。

まず大切なのは「透析手帳」や「服用している薬のリスト」、「かかりつけ医の連絡先」を常に携帯しておくことです。非常時にも医療情報をスムーズに伝えることができ、受け入れ先の医療機関で迅速な対応が可能になります。また、災害時には透析患

者用の避難所が設けられる場合があります。事前に自治体や透析施設の災害マニュアルを確認し、避難経路や避難所の場所を把握しておきましょう。備蓄品として、非常食、水、内服薬、体調記録ノートなどを常備しておくで安心です。

腎臓病の患者さんは、一般の方以上に「いざという時」の備えが必要です。各透析施設で、透析患者支援体制を強化する取り組みが進められています。平時からの準備と情報共有が、災害時の不安を和らげ、命を守る力になります。

